

補助事業番号 2024M-309
補助事業名 2024年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業
補助事業者名 長野県

1 補助事業の概要

本事業では、「放射電磁界イミュニティ試験システム」および「フーリエ変換赤外分光分析装置」を長野県工業技術総合センター精密・電子・航空技術部門に導入します。

年月の経過により老朽化した設備を操作性、機能性が大幅に向上した最新設備に更新することにより、従来から実施してきた分析、評価に加え、これまで対応できなかった複雑かつ多様な要望にも応えられる体制を整えます。

日々の生産活動の下支えから、高付加価値あるいは環境に優しい新製品の開発など、地域製造業の持続的な成長を支援します。

2 予想される事業実施効果

本県の主力産業を始め、様々な製品の評価を行う基本的な分析・評価装置を整備することにより、日々の生産活動における基本的な技術支援から、成長が見込まれる環境・エネルギー、医療、次世代交通分野等への展開を通じた産業と技術革新の基盤づくりを通じて、本県製造業の持続的な成長を支援します。

(1)放射電磁界イミュニティ試験システムの整備

本システムは、民生・産業用機器、医療機器などの電子機器が電磁波ノイズに曝された際に誤動作や故障を生じない性能、すなわち電子機器の電磁波ノイズ耐性を評価するシステムです。本事業で最新の設備にすることにより、最新版の国際規格に適合する電気・電子機器、医療機器、車載機器等の開発を支援し、輸出や盛業産業分野への参入・事業拡大に貢献します。

(2) フーリエ変換赤外分光分析装置の整備

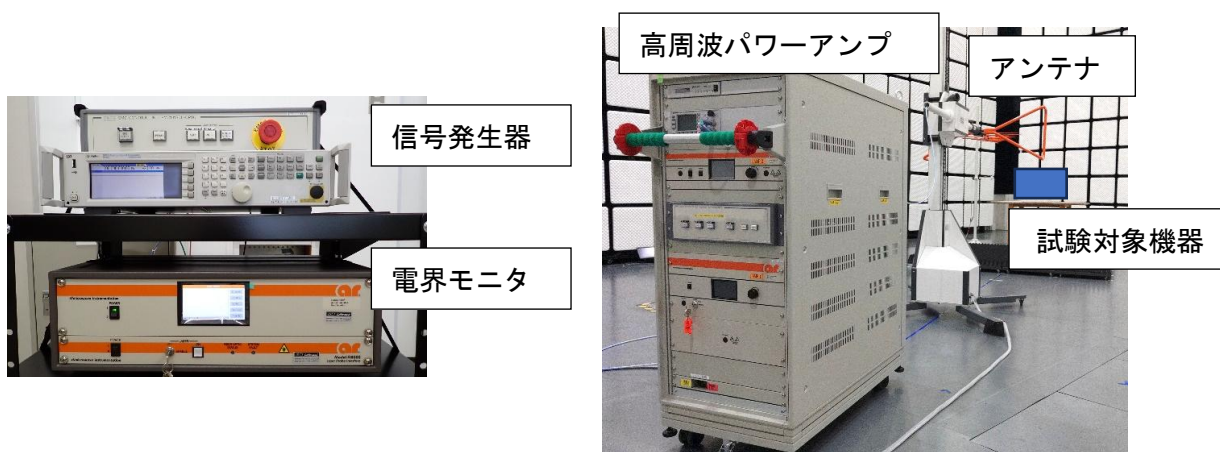
本装置は、様々な製品や物質(固体・液体)等の成分、有機化合物の分析をおこなう装置です。主成分の分析のほか、数 μm 深さまでの表面分析、最小領域数 μm の微小領域分析、特定成分の面内分布状態を可視化したイメージング分析などの各種分析法でさまざまな解析の要望に対応することで、品質管理、故障・不良品解析、製品や製造工程の改善・最適化を支援します。また、生産効率の向上や適切なクリーン化による、脱炭素社会実現にも貢献します。

3 本事業により導入した設備

①-1 放射電磁界イミュニティ試験システム

https://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/cms/content/files/seimitsu/R06_setsubi/R06_jka_housyadenjikai_immunity_1.pdf

電波暗室内において放送波や無線通信波等を模擬した強い電磁波ノイズを試験対象に照射し、誤動作や故障が発生しないことを確認する試験システムです。

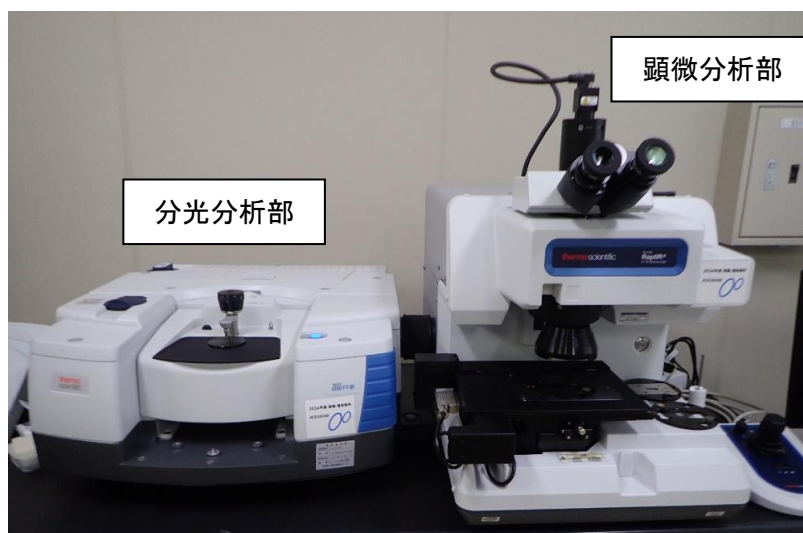


設置場所：【長野県工業技術総合センター 精密・電子・航空技術部門】

①-2 フーリエ変換赤外分光分析装置

https://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/cms/content/files/seimitsu/R06_setsubi/R06_jka_FTsekigaiunkou_1.pdf


試料に赤外線を照射して得られる化合物固有の赤外吸収スペクトルを解析して、有機物や一部の無機物の定性分析を行う装置です。



設置場所：【長野県工業技術総合センター 精密・電子・航空技術部門】

② 本事業に係る印刷物等

②-1 利用普及講習会


長野県（産業労働部）プレスリリース 令和7年（2025年）2月25日

**新規試験設備「放射電磁界イミュニティ試験システム」
利用普及講習会を3月13日（木）に開催します**

工業技術総合センターでは、本年度、最新の国際規格に基づいて、製品の組立段階で動作試験を実施できる放射電磁界イミュニティ試験システムを導入しました。本設備で実施する試験を概説するとともに実施を見学いただく講習会を開催します。ご利用を検討している県内企業等の皆様のご参加をお待ちしています。

開催日時 3月13日（木）13:30～15:30

会場 工業技術総合センター 精密・電子・航空技術部門（岡谷市）
※オンライン（Zoom）配信も行います。



内容 ・IEC61000-4-3（放射無線周波電磁界イミュニティ試験）の概要説明
・IEC61000-4-39（近接照射イミュニティ試験）の概要説明
・設備見学（対面セミナー参加の方のみ）

講師 株式会社イー・エム・シー・ジャパン 測定技術部 岸川 要樹 氏


申込方法 次のURLまたは2次元コードをご覧ください。
お申し込み時に対面セミナーかオンラインを選択してください。
https://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/cms/content/files/seimitsu/R6hukyuu_elect.pdf

申込期限 3月7日（金）17時

参加費 無料

この設備は、公益財団法人JKAの補助金を受けて導入しております。
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>



みんなでつくろひのこども子育てに優しい県庁

（問合せ先）	当 工業技術総合センター精密・電子・航空技術部門 電子部 上条 空穂 電 話 0266-23-4054 電子メール seimitsushken@pref.nagano.lg.jp
（問合せ先）	当 産業労働部産業技術課 技術開発係 小松 守 氏 電 話 026-230-7196 電子メール seimitsushken@pref.nagano.lg.jp

長野県工業技術総合センターWebサイト

○放射電磁界イミュニティ試験システム

https://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/cms/content/files/seimitsu/R6hukyuu_elect.pdf

○フーリエ変換赤外分光分析装置

https://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/cms/content/files/seimitsu/R6hukyuu_chem.pdf


**放射電磁界イミュニティ試験システム
利用普及講習会のご案内**

長野県工業技術総合センター精密・電子・航空技術部門では、令和6年度に公益財団法人JKAの「公益工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業」を募集しました。利用普及講習会を現地及びオンライン配信で開催し、本システムにより実施する試験の概要をご紹介します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

1 開催日時 令和7年(2025年)3月13日(木) 13:30～15:30

2 会場 長野県工業技術総合センター 精密・電子・航空技術部門 プロジェクト会議室 (岡谷市長地片開時1-3-1) ※オンライン（Zoom）配信も行います。放射電磁界イミュニティ試験システム

3 内容 「IEC61000-4-3(放射無線周波電磁界イミュニティ試験)の概要説明」 「IEC61000-4-39(近接照射イミュニティ試験)の概要説明」
講師 株式会社イー・エム・シー・ジャパン 測定技術部 岸川 要樹 氏 (講演後、現地参加の方のみ設備見学を行います。)

4 定員 現地20名、オンラインは定員なし

5 参加費 無料

6 申込方法 下のURLまたは2次元コードからお申し込みください。
なお、お申し込みには連絡用メールアドレスが必要になります。
https://zoom.us/join/join?join=709_csk0qah53et4q123_Tg
締切 令和7年(2025年)3月7日(金)



※詳しい情報は、本講習会でのみ使用し他の用途には一切使用しません。

■お問合せ先 長野県工業技術総合センター 精密・電子・航空技術部門 (担当) 上条 空穂 TEL:0266-23-4054 FAX: 0266-23-9081 E-mail: seimitsushken@pref.nagano.lg.jp

この設備は、公益財団法人JKAの補助金を受けて導入しております。
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>


**フーリエ変換赤外分光分析装置
利用普及講習会のご案内**

長野県工業技術総合センター精密・電子・航空技術部門では、令和6年度に公益財団法人JKAの「公益工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業」によりフーリエ変換赤外分光分析装置(FI-IR)を整備しました。利用普及講習会を現地及びオンライン配信（Zoom）で開催し、本装置の特徴やアプリケーションをご紹介します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

1 日時 令和7年(2025年)2月4日(火) 13:00～15:30

2 開催方法 現地及び オンライン配信（Zoom）

3 場 所 長野県工業技術総合センター 精密・電子・航空技術部門 プロジェクト会議室 (岡谷市長地片開時1-3-1) フーリエ変換赤外分光分析装置

4 内 容 「フーリエ変換赤外分光分析装置 (is50+RapIR)の紹介」
～FT-IRの原理・is50+RapIRの特徴・アプリケーション紹介～
講師 サーモフィッシャーサイエンス株式会社 CAD 事業本部 要素技術開発部 小松 守 氏 (講演後、現地参加の方のみ設備見学を行います。)

5 定員 現地20名

6 参加費 無料

7 申込方法 以下のURLまたは2次元コードからお申し込みください。
なお、お申し込みには連絡用メールアドレスが必要になります。
https://zoom.us/webinar/register/WN_KK4OZHX_Teu2117468jg
締切 令和7年(2025年)3月30日(木)



※詳しい情報は、本講習会でのみ使用し他の用途には一切使用しません。

■お問合せ先 長野県工業技術総合センター 精密・電子・航空技術部門 (担当) 成田 田彦 TEL:0266-23-4053 FAX: 0266-23-9081 E-mail: seimitsushken@pref.nagano.lg.jp


この設備は、公益財団法人JKAの補助金を受けて導入しております。
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

2025年3月13日		放射線分野イミューネティ試験システム利用普及講習会 長野県工業技術総合センター
イベント名称	放射線分野イミューネティ試験システム利用普及講習会	機械工業部員
事業名称	長野県工業技術総合センター	
主催	長野県	
実施日	2025年3月13日	
実施時間	13:30~15:30	
実施場所	長野県工業技術総合センター-精密・電子・航空技術部門 (岡谷市黒地片岡町1-3-1) 及びオンライン	
イベント内容	<ul style="list-style-type: none"> IEC61000-4-3 (放射線誘起電磁界イミューネティ試験) の概要説明 IEC61000-4-39 (近接放射イミューネティ試験) の概要説明 設置免許 (装置セミナー参加の方のみ) 	
一般の方の参加可否	参加できません	
ホームページURL (イベント紹介サイト)	https://www.gtc.pref.nagano.lg.jp/cms/content/files/seimitsu/R6shukyuu_elect_04d	
ホームページURL (補助事業サイト)	https://www.gtc.pref.nagano.lg.jp/cms/	
email	seimitsushiken@pref.nagano.lg.jp	

2025年2月4日		フーリエ変換赤外分光分析装置利用普及講習会 長野県工業技術総合センター
 <p>フーリエ変換赤外分光分析装置</p>		機械工業部員
イベント名称	フーリエ変換赤外分光分析装置利用普及講習会	
事業名称	長野県	
主催	長野県	
実施日	2025年2月4日	
実施時間	13:00~15:30	
実施場所	長野県工業技術総合センター-精密・電子・航空技術部門 (岡谷市黒地片岡町1-3-1) 及びオンライン	
イベント内容	<p>(1) 講義 「フーリエ変換赤外分光分析装置 (IR50+ReactIR) の概要および活用事例のご紹介」 講師：サモフィツシャーサイエンスフィジック株式会社 CAD申請本部 部長 技術開発部 小池 守 氏</p> <p>(2) 装置の見学</p>	
一般の方の参加可否	参加できません	
ホームページURL (イベント紹介サイト)	https://www.gtc.pref.nagano.lg.jp/cms/content/files/seimitsu/R6shukyuu_chem_04d	
ホームページURL (補助事業サイト)	https://www.gtc.pref.nagano.lg.jp/cms/	
email	seimitsushiken@pref.nagano.lg.jp	

長野県商工新聞
令和7年2月28日

(1) 第 2320 号 (昭和 55 年 3 月 31 日 創刊) 長野県商工新聞 (毎月 8 回 8 日・18 日・28 日 発行) 令和 7 年 2 月 28 日 (金曜日)



放射線試験の様子

放射線境界イミューネティ試験システム 普及講習会 3月13日 利用普及講習会

本講習会は、放射線誘起電磁界イミューネティ試験システムを利用する事業者向けに、試験の概要、試験方法、試験結果の活用方法などを説明し、試験システムの導入を支援することを目的として開催されます。

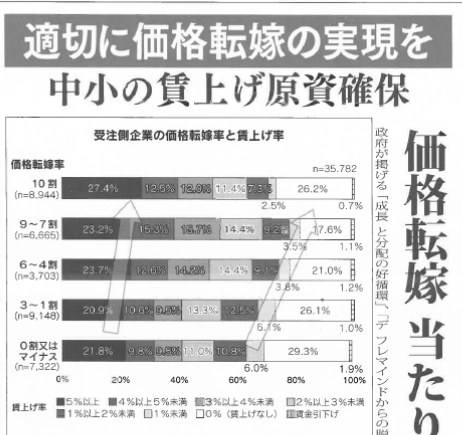
試験の概要
放射線誘起電磁界イミューネティ試験システムは、放射線による電磁界の発生を抑制するための対策を講ずるための試験システムです。

試験の準備
試験の準備として、試験システムの導入、試験環境の整備、試験データの収集などが行われます。

試験の実施
試験の実施は、試験システムの操作、試験データの収集、試験結果の分析などが行われます。

試験の結果
試験の結果は、試験システムの操作、試験データの収集、試験結果の分析から得られます。

試験の活用
試験の結果は、試験システムの操作、試験データの収集、試験結果の分析から得られます。



価格転嫁 当たり前に

中小企業 賃上げ原資確保

中小企業の賃上げ原資確保には、価格転嫁の適正化が不可欠です。本調査は、受注側企業の価格転嫁率と賃上げ率の関係を明らかにし、中小企業の賃上げ原資確保に資することを目的としています。

価格転嫁率と賃上げ率の関係を明らかにし、中小企業の賃上げ原資確保に資することを目的としています。

価格転嫁率と賃上げ率の関係を明らかにし、中小企業の賃上げ原資確保に資することを目的としています。

②-2 新規導入設備の機能・使用や利用普及に関する紹介


長野県工業技術総合センターWebサイト・新規導入設備

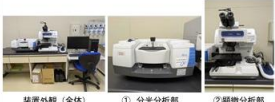
○放射電磁界イミュニティ試験システム

https://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/cms/content/files/seimitsu/RO6_setsubi/RO6_jka_housyadenjikai_immunity_1.pdf

○フーリエ変換赤外分光分析装置

https://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/cms/content/files/seimitsu/RO6_setsubi/RO6_jka_FTsekigaiunkou_1.pdf

 この装置は、公益財団法人JKAの補助金により導入しました。 https://hojo.keirin-autorace.or.jp/	
放射電磁界イミュニティ試験システム (JKA 補助)	
メーカー名	Amplifier Research社 (米国)
型式	ARS0996R-550J75
機能 (用途)	国際規格 (IEC) や日本産業規格 (JIS) の規定に基づき、電波暗室内において放送波や無線通信波等を模擬した強い電磁波ノイズを試験対象の電気・電子機器に対して照射し、誤動作や故障が発生しないことを確認する試験システムです。 家電・民生機器、産業機器、医療機器などの電磁波ノイズ耐性の評価ができます。
仕様	【試験規格】 IEC 61000-4-3、IEC 61000-4-39、JIS C61000-4-3 など 【試験周波数範囲】 80 MHz~6 GHz 【最大電界強度】 20 V/m 【変調】 振幅変調、周波数変調、パルス変調
外観	
利用形態	依頼試験 設備利用 共同・受託研究
担当部門等	精密・電子・航空技術部門 電子部 TEL 0266-23-4054

 この装置は、公益財団法人JKAの補助金により導入しました。 https://hojo.keirin-autorace.or.jp/	
フーリエ変換赤外分光分析装置 (JKA 補助)	
メーカー名	サーモフィッシャーサイエンティフィック社 (米国)
型式	Nicolet i550 Nicolet RaptIR+ 赤外線顕微鏡
機能 (用途)	分析試料に赤外線を照射して得られる化合物固有の赤外吸収スペクトルを解析して、有機物や一部の無機物の定性分析を行います。 解析の目的や試料の状態に応じて、主成分の分析はじめ、深さ数μmまでの表面分析 (ATR)、赤外線顕微鏡を用いた微小な領域の分析など複数の分析法から最適なものを選択し、高感度・迅速に定性分析を行うことが可能です。 プラスチック、ゴム、繊維、接着剤、塗料、油脂、天然素材、一部の無機化合物 (鉱物、無機系充填剤、炭酸塩、ケイ酸塩、硫酸塩等) のスペクトルデータを4万件以上収録したデータベースを利用することで、部品の不良や故障、製造・保管・流通時のトラブル解析、製造工程の改善、研究開発などに幅広く活用いただけます。
仕様	【分析法】 透過、反射、ATR、イメージング (RaptIR+のみ) 【最小分析領域】 5 μm × 5 μm (RaptIR+のみ) 【最大試料サイズ】 厚み 40mm、荷重 5kg (RaptIR+のみ)
外観	
利用形態	依頼試験 設備利用 共同・受託研究
担当部門等	精密・電子・航空技術部門 化学部 TEL 0266-23-4053

長野県工業技術総合センターWebサイト・技術紹介コーナー

○放射電磁界イミュニティ試験システム

https://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/cms/content/files/seimitsu/gi_jutsujoho/gi_jutujohc511.pdf

○フーリエ変換赤外分光分析装置

https://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/cms/content/files/seimitsu/gi_jutsujoho/gi_jutujohc510.pdf

放射電磁界イミュニティ試験システム（新規設備）の紹介

精密・電子・航空技術部門

令和6年度工業技術総合センター（精密・電子・航空技術部門・岡谷市）は、公益財団法人JKA機械振興財団の補助金を受けて「放射電磁界イミュニティ試験システム」を導入しました。電気・電子機器に対して強い電磁波ノイズを照射し、誤動作や故障が発生しないことを確認するための装置です。家電・民生機器、産業機器、医療機器などの電磁波ノイズ耐性評価にご利用いただけます。

■ システム概要

電気・電子機器を国内外で販売するためには、各国・地域に実装する電磁波ノイズ規制に適合している必要があります。そのため、電気・電子機器は様々な電磁波ノイズ試験を要求されます。

要求される試験のうち、放射電磁界イミュニティ試験は、電気・電子機器が電磁波や電圧波などの無指向放射の電磁波ノイズに曝露される状況を模擬し、電磁波ノイズ耐性（イミュニティ性能）を評価する試験です。

導入した放射電磁界イミュニティ試験システムは、国際規格（IEC）や日本産業規格（JIS）に準拠し、家電・民生機器、産業機器などの電磁波ノイズ耐性の評価試験が可能です。従来から実施されてきた遠方から発生する電磁波ノイズを模擬した簡易評価試験のほか、2017年に試験規格が施行された、電気・電子機器に近接して配置された無線通信機器（携帯電話や無線LANなど）から発生する電磁波ノイズを模擬した簡易試験も実施できます。

従来機と比較し、高出力パワーアップで電圧が大きくなくなったこと、より強い電磁波ノイズを発生させることができるようになったこと、これにより、国際規格と高い信頼性が求められる電気・電子機器も同規格に準拠した試験が実施できるようになりました。

■ システムの主な仕様

メーカー	Amelifor Research, Inc.
型番	ARS80MG-500/75
適合規格	IEC 61000-4-3, JIS G1000-4-3 IEC 61000-4-39, IEC 60601-1-2 など
周波数範囲	80 MHz~6 GHz
電圧強度	20 V/m
電源	三相交流、周波数変動、パルス変動



図1 信号発生器・安全装置・電圧モニター



図2 試験時の様子

■ ご利用について
本設備は、信頼性・設備利用の共通、共同・受託研究などで社内・県外企業の特権に利用いただくことが可能です。本装置の詳細及び利用等に関するお問い合わせは下記までご連絡下さい。

長野県工業技術総合センター
精密・電子・航空技術部門 電子部 佐藤
TEL:0266-23-4054
E-Mail:seimat@nashiki.pref.nagano.jp
(2025年2月作成)

フーリエ変換赤外分光分析装置（新規設備）の紹介

精密・電子・航空技術部門

令和6年度工業技術総合センター（精密・電子・航空技術部門・岡谷市）は、公益財団法人JKA機械振興財団の補助金を受けて「フーリエ変換赤外分光分析装置（FTIR）」を導入しました。本装置を用いて、有機化合物の定性分析を高感度・迅速・非破壊で行うことにより、製品や部品の不良や偽造、製造・保管・流通時のトラブル解析、研究開発などに幅広く活用いただけます。

■ 装置概要

本装置（図1）は、分析試料に赤外線を照射して得られる化合物固有の赤外線吸収スペクトルを解析して、有機物や一部の無機物の定性分析を行います。解析の目的や試料の性状に応じて、主成分の分析をはじめ、高分子材料での高倍率分析（ATR）、赤外線顕微鏡を用いた微小な領域の分析など複数の分析から最適なものを選択し、高感度・迅速に定性分析を行うことが可能です。

未知試料の分析には、市販の標準スペクトラライブラリ約23,000件に加え、実部門でこれまで蓄積してきた自製試料をはじめ各種粉末や液体などの天然成分、材料の劣化生成物等を20,000件以上収録したオリジナルのユーザーライブラリを用いることで、より確かな解析が可能です。（図2）

赤外線顕微鏡のステージには12mm、重量5kgまでの大型試料の分析が可能になりました。従来は分析上必要だった試料の研磨や切削を極力避らし、より非破壊で分析ができるようになりました。製品開発や品質管理をはじめ、故障・製造・保管・流通時のトラブル解析、信頼性の高い表面状態の研究開発など、幅広いニーズにお応えできる分析装置です。

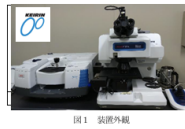


図1 装置外観



図2 分析事例

■ 主な仕様

メーカー	サーモフィッシャー サイエンティフィック社
型番	Nicolet iS50
分析法	透過、反射、ATR イメージング（ReactIRのみ）
最小分析領域	5mm×5mm （ReactIRのみ）
最大試料	厚み10mm、重量5kg

■ ご利用について

本装置は依頼試験、施設利用等での企業の特権にご利用いただけます。装置の詳細及び利用等に関するお問い合わせは、下記までご連絡下さい。

長野県工業技術総合センター
精密・電子・航空技術部門 化学部 田坂
TEL:0266-23-4053
E-Mail:seimat@nashiki.pref.nagano.jp
(2025年2月作成)

長野県 技術開発支援制度のしおり2025

令和7年度技術開発支援制度のご案内

「技術・研究開発」や「産学連携」に取り組みたい	1
主な支援拠点	2
資金支援を受けたい	3
工業技術総合センターを利用したい	13
総合的な支援を受けたい	17
技術開発人材を育てたい	21
専門家等の支援・助言を受けたい	22
販路を開拓したい	22
大学等と共同で技術開発したい	23
県内大学・公設試験場の機器を利用したい	23
産業財産権を活用したい	24
長野県の産業施策紹介	25
関連機関一覧	31



長野県産業政策推進課 佐藤 賢
TEL:026-235-7196
https://www.pref.nagano.jp/nano/sanyo/shokogyo/posiki/ka-hatsu.html

新規導入設備（R6年度）

名称	放射電磁界イミュニティ試験システム
メーカー名	Amelifor Research, Inc. (米国)
型式	ARS80MG-500/75
機能・用途	国際規格（IEC）や日本産業規格（JIS）の規定に基づき、電気・電子機器に対して強い電磁波ノイズを照射し、誤動作や故障が発生しないことを確認する試験システムです。 家電・民生機器、産業機器、医療機器などの電磁波ノイズ耐性の評価が可能です。
仕様	○国際規格：IEC 61000-4-3、IEC 61000-4-39 など ○周波数範囲：80 MHz~6 GHz ○最大電圧強度：20 V/m ○電源：三相交流、周波数変動、パルス変動
利用形態	依頼試験、施設利用、共同研究、受託研究
担当部署	精密・電子・航空技術部門 電子部



名称	フーリエ変換赤外分光分析装置
メーカー名	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)
型式	Nicolet iS50+ReactIR
機能・用途	赤外線を使って樹脂やゴム、接着剤や塗料などの有機素材・表面塗膜の定性分析を行う装置です。厚みや量のある大きな試料から5mm×5mm程度の微小な領域まで迅速に分析が可能です。塗料・塗膜・接着剤の劣化解析、製品の検検・改良、品質管理など幅広い目的で利用できます。
仕様	○測定法：透過、ATR、反射、イメージング（ReactIRのみ） ○最小分析領域：5mm×5mm ○最大試料サイズ：厚み10mm、重量5kg※※ ※測定法やサンプルによる
利用形態	依頼試験、施設利用、共同研究、受託研究
担当部署	精密・電子・航空技術部門 化学部



名称	減圧マイクロ波乾燥装置
メーカー名	(株)廣電
型式	HMV2-1-MRT1
機能・用途	室内を汚染しなから、電子レンジと同様にマイクロ波を照射することで、乾燥・乾燥を行う装置です。減圧することで乾燥させやすくなり、マイクロ波によって内部加熱することで急速・短時間で乾燥が可能となります。食品の乾燥に広く利用されている乾燥機と比較し、高出力マイクロ波出力15kW（出力可変） ○真空ポンプ最大排気速度 110L/min ○クッキングアルゴリズム
利用形態	施設利用、共同研究、受託研究
担当部署	高度技術部門 加工食品部



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 長野県工業技術総合センター

(ナガノケンコウギョウギジュツソウゴウセンター)

住所： 〒380-0928

長野県長野市若里1-18-1

代表者： 所長 風間 武 (カザマタケン)

担当部署： 技術連携部門 (ギジュツレンケイブモン)

担当者名： 研究企画員兼主任研究員 相澤淳平 (アイザワジュンペイ)

電話番号： 026-268-0602

E-mail： gijuren@pref.nagano.lg.jp

U R L： <https://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/>